

寝屋川市で総合医療防災訓練を実施しました！

日時：2017年8月20日（日）13：00～16：30

場所：寝屋川市立保健福祉センター5F

参加者：寝屋川市役所（人・ふれあい部危機管理室、健康部健康推進室、保健所準備室、保健福祉センター）、（社）寝屋川市社会福祉協議会、寝屋川市3師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）協力病院（病院協会）、大阪府（枚方土木事務所）

主催：大阪府（寝屋川保健所）、摂南大学

ファシリテーター： 摂南大学参加者：建築学科学生10名+教員1名（計1名）

今回の見どころ

総合医療防災訓練とは、国が年1回実施している大規模な災害訓練のことです。今年度は大阪府で開催されることになり、寝屋川市では8月に行いました。今回の訓練では、大地震が寝屋川市で起こったと想定し、初の試みとなる多機関合同訓練を行います。多機関合同訓練とは、寝屋川市役所、（社）寝屋川市社会福祉協議会、寝屋川市3師会、大阪府などが参加する訓練で合計100人の規模となります。

プログラム実施風景



会場には多くの機関が集まり、初めに訓練について説明がありました。



地震が発生し寝屋川市の被害が図面上に広がっています。被災状況の確認を行いました。



支援物資の送り先の決定や、各避難所の避難者人数把握をしました。



多機関で集まり寝屋川市災害時医療対策会議を開催しました。



被害の状況を確認し必要な支援について協議しました。



最後に、「寝屋川市の災害について、みんなで協力しないといけない」と話されていました。

プログラム実施結果

私が一番印象に残っているのは、寝屋川市が指定する緊急交通路についてです。寝屋川市の緊急交通路の周辺は密集市街地が多く、地震発生後、家屋倒壊や広い範囲で火災が発生すると想定されていました。もし緊急交通路を使用できなければ、寝屋川市内の避難所には物資の供給が困難になります。また、避難所から重傷者を送り出すことも困難となり、地震発生後の復旧活動が大幅に遅れるのではないかと感じました。このことから、私はたとえ数十年かかっても、密集市街地には広い道路を通すべきだと思います。また、明日発生するかもしれない災害には、個人での備蓄品を準備しておくべきだと思います。